

賃貸住宅業界

情報 サロン

2人の孫がiPad操作 学習の早さに驚き



オークマ工塗 (大阪府東大阪市) 大熊重之社長(54)

住宅や企業の塗装を行うオークマ工塗(大阪府東大阪市)の大熊重之社長は、孫と一緒に動画を撮ることがここ数年の楽しみだという。

大熊社長には2020年で1歳と3歳になる男の子の孫がいる。2人とも電車が好きで、電車や新幹線に関するチャンネルを見るのが多い。乗り物に詳しくない大熊社長は、孫に車種名などを教えられるながら一緒に鑑賞するそうだ。

を覚えるのも早い。孫たちの影響で『日本は新幹線の車種が多い』と知った」と大熊社長は感心した様子で話した。

非対面がテーマでも 訪問営業は必須?



Con Spirito (東京都渋谷区) 村上幸生社長(48)

「営業訪問をお断りしたら、非対面営業がテーマのウェビナーなのに受けられなかった」と苦笑いするのは、投資不動産販売・賃貸管理を手掛けるCon Spirito(コンスピリット)の村上幸生社長だ。

ウェビナーがやはり始めたころ、ウェブマーケティング会社の「対面ではない営業手法」というウェビナーに興味を持ち、申し込みをした。翌

日、担当者から「ウェビナーを受ける前に、申し込みした理由を教えてください。明日訪問したい」と営業電話があった。「訪問に感じなかったため、結局視聴できなかった。対面でない営業ではなかったのか」と、思わず鼻で笑ってしまう村上社長だった。

年代ものピンボール 鍛えた交渉力で入手



ルームキューブ (東京都台東区) 榎本敦史社長(43)

不動産賃貸や売買、リノベーションなどを手掛けるルームキューブ(東京都台東区)で来店客を迎えるのはピンボールのピンボール台。榎本敦史社長が約1年前に浅草のこっとう店の店主に譲ってもらったものだ。

売買を仲介したある案件の売り主がこの店主だった。そのピンボール台は店主自身が店使っていたもので、実は売り物ではなかった。「アンテナイクに限らず、格好いものが好き」という榎

私の ルキ時代



LGBT(性的少数者)の部屋探しに注力するIRIS(アイリス・東京都新宿区)の須藤啓光社長は、LGBTが世間の目を気にすることなく過ごせる社会を目指している。だが、同性

退職を機に



IRIS (東京都新宿区) 須藤啓光社長(30)

須藤社長は生まれ育った学校を卒業後、融機関や不働働いていた。同性愛者のことを意識したことをのセクシャリティを認め、その後

本社長にとってうれしくなるような逸品ばかりの店内だったが、他の売り物以上にこのピンボール台に引き付けられた。何とか8万円で譲ってもらったことができたが、「売買仲介の買い主だけでなく、売り主の心もつかむ交渉力」が決め手と笑う。

ファンタイクン

帰省



設立記念のプレゼント